

## 記載要領

様式第4の水（第4条、第5条関係）

### 地下タンク貯蔵所構造設備明細書

|                                 |                                     |  |       |                                      |  |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|-------|--------------------------------------|--|
| 事業の概要                           |                                     | 注 1  |       |                                      |  |
| タンクの設置方法                        |                                     | 注 2                    タンク室                    ・                    直埋設                    ・                    漏れ防止 |       |                                      |  |
| タンクの種類                          |                                     | 注 3                    鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク・鋼製二重殻タンク<br>鋼製強化プラスチック製二重殻タンク   |       |                                      |  |
| タンクの構造・設備<br>注 4                | 形状                                  |  |       | 常 圧 ・ 加 圧 (                    kPa ) |  |
|                                 | 寸 法                                 |  |       | 容 量                                  |  |
|                                 | 材質、板厚                               |  |       |                                      |  |
|                                 | 外面の保護                               |  |       |                                      |  |
|                                 | 危険物の漏れ<br>検知設備又は<br>漏れ防止構造<br>の 概 要 |  |       |                                      |  |
|                                 | 通 気 管                               | 種 別  | 数     | 内径又は作動圧                              |  |
|                                 |                                     |  |       | mm<br>kPa                            |  |
|                                 | 安 全 装 置                             | 種 別  | 数     | 作 動 圧                                |  |
|                                 |                                     |  |       | kPa                                  |  |
| 可燃性蒸気<br>回収設備                   | 有 (                    ) ・ 無        |  |       |                                      |  |
| 液量表示装置                          |                                     | 引火防止装置   | 有 ・ 無 |                                      |  |
| タンク室又はタンク<br>室以外の基礎、固定<br>方法の概要 | 注 5                                 |  |       |                                      |  |
| 注 入 口 の 位 置                     | 注 6                                 | 注入口付近の<br>接 地 電 極  | 有 ・ 無 |                                      |  |
| ポンプ設備の概要                        | 注 7                                 |  |       |                                      |  |
| 配 管                             | 注 8                                 |  |       |                                      |  |
| 電 気 設 備                         | 注 9                                 |  |       |                                      |  |
| 消 火 設 備                         | 注 10                                |  |       |                                      |  |
| 工事請負者住所氏名                       | 注 11                                |  |       | 電話                                   |  |

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 「直埋設」とは、地下貯蔵タンク（二重殻タンクを含む。）をタンク室以外の場所に設置する方法（地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面に設置する方法を除く。）をいう。

3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

## 記載要領

### 屋内貯蔵所構造設備明細書

- 注 1 「事業の概要」欄は、例えばボイラー用の燃料タンクの場合は「ボイラー消費の一般取扱所の燃料消費として貯蔵する。」又、給油取扱所の専用タンクにあつては「給油取扱所の専用タンクとしてガソリンを貯蔵する。」等と記入する。
- 注 2 「タンクの設置方法」欄は、該当する項目を で囲む。  
\* 「漏れ防止」とは、地下貯蔵タンクを適当な防水装置を講じた厚さ 以上のコンクリートで被覆したものである。「危規則第 24 条の 5 の 2」
- 注 3 「タンクの種類」欄は、該当する項目を で囲む。
- 注 4 「タンクの構造・設備」欄は、次のように記入する。
- a 「形状」は、例えば「横置円筒型（中仕切り） 縦置円筒型」等と記入する。
  - b 「常圧・加圧」は、最大常用圧力が正圧又は負圧で水柱 mm以内のものについては「常圧」を で囲み、その他のタンクについては「加圧」を で囲み、その圧力を記入する。
  - c 「寸法」は、例えば「内径 mm、胴長 mm、鏡出 mm」等と記入する。
  - d 「容量」は、「実容量 リットル、空間容積 リットル（ %）、容量 リットル」等と記入する。
  - e 「材質、板厚」は、例えば「SS400、鏡出 mm、胴板 mm」等と記入する。
  - f 「外面の保護」は、危規則第 24 条に規定されている保護方法について、例えば、「アスファルト塗装（危規則第 24 条第 1 項 1 号八による保護方法）」等と記入する。
  - g 「危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要」欄  
危険物の漏れ検知設備は、検知方法について概要を記入する。  
\*漏れ防止構造の概要は、例えば「防水措置をした厚さ 以上（側方及び下方については、厚さ 以上）の鉄筋コンクリートで被覆する。」等と概要を記入する。
  - h 「通気管」欄  
\* 「種別」は、無弁通気管又は大気弁付通気管の別、「数」はタンクに設けられる数を記入する。  
\* 「内径又は作動圧」は、無弁通気管にあつては内径、大気弁付通気管にあつては内径及び作動圧をそれぞれ記入する。
  - j 「装置」は、圧力タンクの場合について記入する。
  - k 「蒸気回収設備」は、該当する項目を で囲み、「有」とした場合には、かっこ内にその設備の概要を、例えば「回収ホースによる通気管への結合型返還方式」等と記入する。
  - l 「液量表示装置」は、「フロート式液面計」等と記入する。
- 注 5 「タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要」欄は、「基礎は鉄筋コンクリート造 厚さ mmとし、 mm×9mmの鋼帯を 2 本設け、径 mmのアンカーボルトにてタンクを固定する。」等と概要を記入する。
- 注 6 「注油口の位置」欄は、注油口の位置について「遠方注入口」、「タンク頂部」、「別添図面の位置」等と記入する。
- 注 7 「ポンプ設備の概要」欄は、ポンプ設備の種類（油中ポンプ、ギアポンプ等）、基数、防爆構造又はポンプ室の場合は建物構造等をそれぞれ記入する。
- 注 8 「配管」欄は、材質、口径、接続方法、外面防食措置を、例えば「ポリエチレン被覆鋼管を使用し、埋設部分は溶接し、タールエポキシ塗布の上に防食テープを巻く。」等と記入する。
- 注 9 「電気設備」欄は、例えば「電気設備技術基準により施工する。」等と記入する。
- 注 10 「消火設備」欄は、例えば「第 5 種（粉末 ABC 消火器... kg）× 2 本」等と記入する。
- 注 11 「工事請負責任者住所氏名」欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。